

JAERA

NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

- 巻頭言・易解体ツール現場検討会の様子… P1
 □自動車リサイクル士講習会のアンケート結果… P2、P3 □沖縄ブロック会議の結果・東北ブロック
 会議の結果… P3 □エアバッグ再生事業の経過報告と機構会員の活動紹介… P4、P5
 □2021年度駆動用HV/バッテリー共同出荷事業2月出荷状況と今季累計・2月新車販売・使用済
 自動車発生台数… P6 □鉄スクラップ最新情報… P7 □行事予定・お知らせ/編集後記… P8

vol. 157

易解体ツール現場検討会の様子

01

「開発し続けてきた“易解体ツール”を解体事業者の皆様には是非評価していただきたい！」長年、自動車易解体構造設計や解体工法の研究と、現場の安全・効率化を狙いとした解体作業改善ツール(易解体ツール)の開発を行ってきた“豊田メタル株式会社自動車リサイクル研究所”(以下、豊田メタル)からこういったご依頼が届き、東北ブロックの皆様からの全面的なご協力のもと、3月10日(木)に山形県の株式会社永田プロダクツにて現場検討会が開催されました。

切断設備を使わずに人力でラジエーターコア(アルミ)とタンク(樹脂)の分別ができる「ラジエーター樹脂タンク分別ツール」、トヨタ車の燃料タンクからヒューエルポンプを取り出す際のキャップの取り外しが容易に可能な「燃料タンクキャップ取り外しツール」以上2つのツール紹介と実演があり、解体現場に携わる皆様から活発な意見交換が行われました。

「これらのツールは、販売して利益を上げるのではなく、解体現場で働く皆様に少しでも安全で効率的な作業が出来るようにと思い開発し続けてきました。」とのお話でした。今後も豊田メタル様と当機構で連携し、この取り組みを継続する予定です。



【ラジエーター樹脂タンク分別ツール】

※上の写真をクリックすると実演動画をご覧いただけます。



燃料タンクキャップにはめ込んで回すと綺麗

【燃料タンクキャップ取り外しツール】

↓参考動画はこちら↓

- ラジエーター樹脂タンク分別ツール → <https://youtu.be/AekyER6j8-8>
- 燃料タンクキャップ取り外しツール → <https://youtu.be/BBDuYPKhAsc>

巻頭言

コロナ禍ではありますが少しずつ卒業式や入学式が開催されているようです。

今まで当たり前だった卒業式の袴姿やピカピカの1年生に付き添う父兄の姿を見かけると何故かホッとします。桜の花の咲く中、こちらも新年度の始まりを感じ心がシャキッとします。

4月より弊社にも新入社員が入社します。仕事は一から教えていかなければなりません。居るだけでフレッシュ、社内の雰囲気は明るく爽やかにになります。彼らには仕事を通して①やりがい②経験を通して成長する喜び③人との繋がり④感謝出来る人になって欲しいと思います。

笑顔の溢れる「ありがとう」の飛び交う会社造りをしていきたいとあらためて思います。

〈広報部会 木村 香奈子〉

《編集・発行責任者》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
 広報部会長 永田 則男

《お問い合わせ先》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
 〒105-0004
 東京都港区新橋3丁目2番2号
 TEL: 03-3519-5181
 FAX: 03-3597-5171
 MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp
 H P: http://www.elv.or.jp/

2021年度 自動車リサイクル士制度認定講習会アンケート結果

02

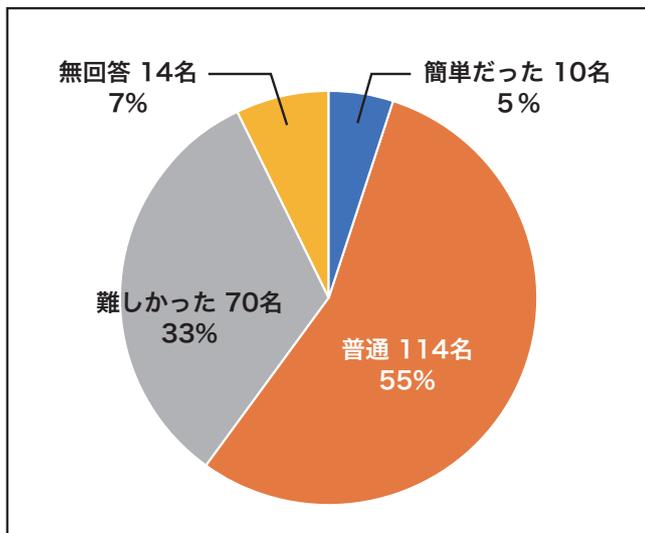
2021年度の自動車リサイクル士制度認定講習会は、全ての日程が終了いたしました。皆様には円滑な運営やコロナ対策等にご協力いただきましたこと誠に感謝申し上げます。

新規講習会は、講習をWEB（オンデマンド配信）、試験は会場受験という初の試みでございましたが、208名の方に受験いただき、結果192名の方が合格されました。また、更新期限を迎えられる方向けの更新講習会については、講習をライブ配信するというサテライト方式で開催し、87名の方に受講いただきました。

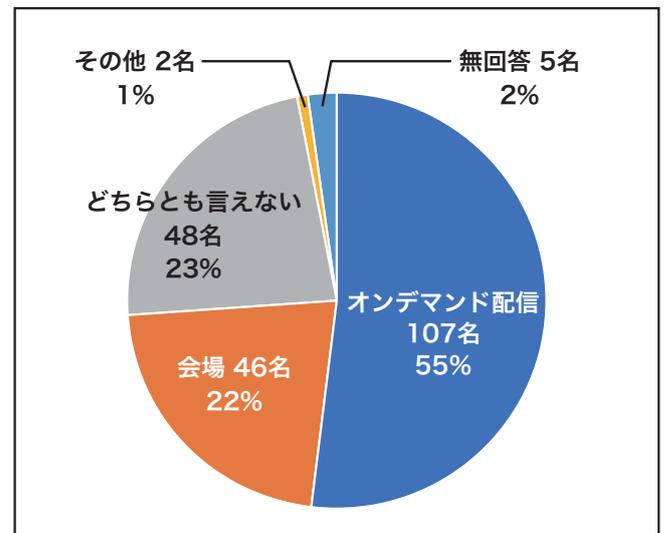
今回は各講習会で皆様からご回答いただいたアンケート結果の一部をご紹介します。

新規講習会

①【終了試験の難易度をお答えください】



②【今後講習会へ参加する場合どのような形態を希望されますか】



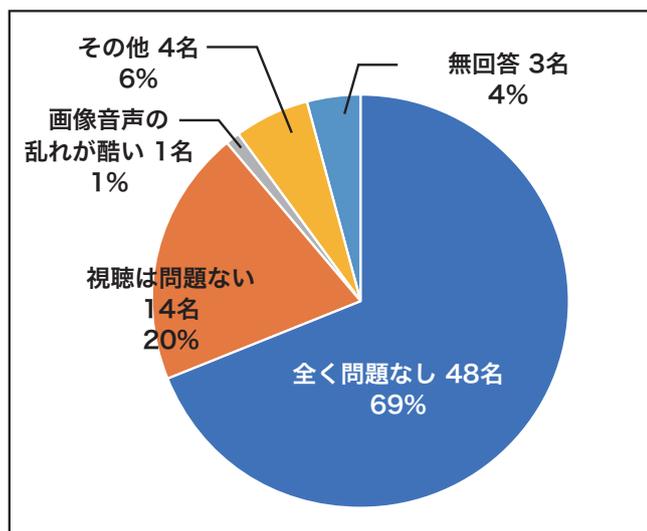
①の修了試験の難易度については、簡単だった、普通と答えた方が計60%となり、難しいと答えた方が33%という結果になりました。初めての形式となった今回の講習会については、②のグラフより52%という過半数の方が今後もオンデマンド配信を希望されていることが分かりました。

■新規講習会のアンケート結果の詳細はこちら↓

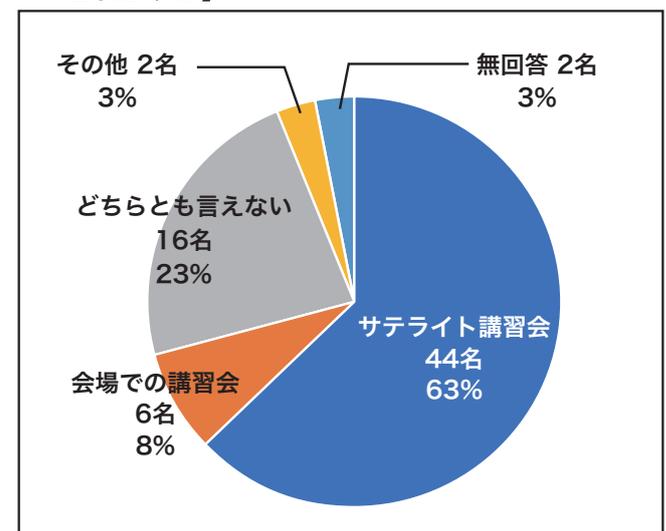
<https://www.elv.or.jp/media/20/20220329-2021sinnkiannketo2.pdf>

更新講習会

①【サテライト講習会の通信状況について】



②【今後講習会へ参加する場合どのような形態を希望されますか】



サテライト講習会の通信状況について、①のグラフのとおり全く問題なし、視聴は問題ない方が計89%となりました。加えて、②のグラフでは今後もサテライト講習会の方法を希望される方が63%という結果になりました。

■更新講習会のアンケート結果の詳細はこちら↓

<https://www.elv.or.jp/media/20/20220329-2021kousinnannketo.pdf>

■2022年度の講習会について

次回(2022年度)の講習会は、新規・更新ともに今回と同じ方式での開催を予定しており、詳細につきましては次号ニュースレターでご案内させていただきます。

各会議の開催結果報告

03

沖縄ブロック会議の結果 一会員の増加に更なる注力を一

2022年3月9日(水)に沖縄ブロック会議がWEBにて開催されました。そのなかで、次年度の活動において特に“会員の増強”に力を注いでいくことを共通で認識し、そのために声掛けなどの活動を活発に行っていくということが大きなポイントとなりました。

また、自動車リサイクル士制度認定講習会についての意見があり、次年度の新規講習会でも沖縄ブロックの多くの方々に受講して欲しいとの思いから、周知の徹底と、どのくらいの方が受講してくれるのかという人数把握を目的として、解体業に携わる方々に案内文を送付するというアイデアが挙げられました。

なお、沖縄ブロックでは「自動車リサイクル士のいる許可工場」というのぼりを作成するなど、資格のPR活動にもブロック一丸となって取り組んでいます。

東北ブロック会議の結果 一活動の活性化のために一

沖縄ブロック会議と同じ3月9日(水)に東北ブロック会議が山形県で開催され、今回は対面とWEBを併用した会議でしたが、在庫状況や相場価格、触媒についてなど各地域の現況報告や情報交換が活発に行われました。

また、対面会議のようにお互いの意見がスムーズに交換することが出来るWEB会議システムを設け、それによってコロナ禍でもより綿密にコミュニケーションが取れることでブロック活動の更なる活性化につなげるため、今回“360°WEBカメラ”をブロック活動費を活用して導入することが決まりました。



【会議の様子】



昨年の6月、このニュースレターでも「チャレンジ企業のご紹介」コーナーでエアバッグを再利用し、本格的に商品化・ビジネス化を図ろうとされているリベレテキスタイル合同会社の代表・長谷川泰聖氏を紹介させていただきました。

この情報を受け同年7月より日本自動車リサイクル機構の中部・北陸ブロックを中心にエアバッグ回収スキームを作りエアバッグの回収が始まりました。経過報告として現在は、毎月3,000枚～5,000枚のエアバッグが回収され、有名ファッションブランドや大阪の飯田織工(株)様の手に渡り、次々に商品化される予定です。大阪の飯田織工(株)様は4月6日～8日に開催される第9回ファッションワールド東京に出展されます。MA1やシューズを出品予定です。



【エアバッグMA-1】



【エアバッグシューズ】

日本自動車リサイクル機構会員の活動紹介

北海道の株式会社鈴木商会様と鳥取県の有限会社西川商会様のエアバッグを使ったアップサイクル活動をご紹介します。

「使い終わったエアバッグに新しい命を」 ～廃棄自動車から取り出したエアバッグを社員のユニホームとしてアップサイクル～ 株式会社鈴木商会(北海道：駒谷僚社長)

自社、社員用にエアバッグをアップサイクルして「MA-1ジャケットユニホーム」を製作。従業員からは「エアバッグの特性である耐久性や保温性の高さが活かされていて使いやすい」「デザインもお洒落なので作業着としても普段着としても違和感なく着こなせる」と大好評。

今後はお客様のニーズなどを踏まえ、将来的には商品としての販売も視野に入れていければとのこと。廃棄されていた原料をフルに活用することで廃棄物を減らすとともに、世の中に必要とされる新しい製品を作り出していくなどの取り組みを通し、サステナブル社会の実現に向け活動されています。



【着用された社員の皆様】



製品特徴

- ・使用されることなく役目を終えたエアバッグが、社員を守るユニホームに生まれ変わる。
- ・「BRIDGE KUMAMOTO」代表理事クリエイティブディレクターの佐藤かつあき氏デザイン。

「使用済みエアバッグの新たな活用を模索」 ～耐久性や防火性に優れたエアバッグをデザイナーとコラボレーションした洋服～ 有限会社西川商会(鳥取県：西川正克社長)

持続可能性をテーマに、活用されてこなかった「使用済みエアバッグ」の新たな活用を模索。約3年前から鳥取県出身でニューヨーク・ロンドンでも活躍してきたファッションデザイナーの川西遼平氏と出会い、コラボレーションを行い、耐久性や防火性に優れたエアバッグをアップサイクルして作られた洋服等の作品を製作。

西川朋宏専務は、「車の中から素材を見つけて全く別のジャンルで発信することは、どんな業界でも起こりうる。新しいビジネスが生まれるんじゃないか」と話されました。

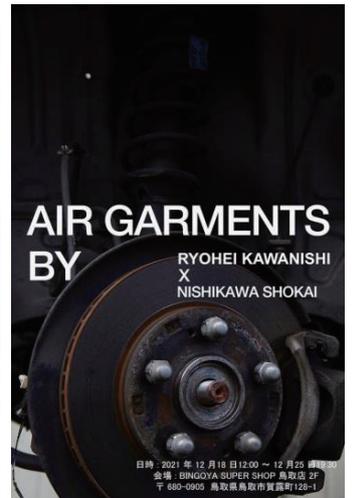
地元の鳥取や東京での展示会は大勢の来場者が訪れ、大盛況でした。鳥取での展示会では、幅広い世代から好評で「着てみたら軽くて着やすかった」「エアバッグには正直見えなかった」と驚いていたそうです。

海外からの取材やメディアでは、朝日新聞、日本経済新聞、京都新聞、NHKおはよう日本などに取り上げられ、今後の更なる展開と活躍が楽しみです。

鳥取内で使用された自動車を
鳥取の有限会社西川商会がエアバッグを取り外し、
鳥取県出身のデザイナー川西遼平氏がデザインし、
鳥取のビッググロウス株式会社が裁断・縫製する
All Made In Tottori



Model Mamadou /Photo by Kazuki Nishiyama



左からBINGOYA 安井社長・クリエイティブデザイナー川西遼平氏・西川専務



【鳥取県での展示会】



【ドイツの国营放送 ARD放送局取材】



【東京での展示会】

2022年度駆動用HVバッテリー共同出荷事業 2月出荷状況と今期累計

05

【2022年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業 2月出荷状況と今期累計】

上段 2月出荷数 下段: 今期累計【単位: 個】

参加会社数 (社)	プリウス 20	プリウス 30	プリウスα	レクサス CT200H	アクア / ヴィッツ	カロラアクシオ / フィルダー	レクサス GS450H	クラウン HV GWS204
24	33	50	1	1	42	0	0	2
80	333	657	16	1	443	1	6	12
クラウン HV AWS210	SAI/レクサス HS250H	カムリ HV	日産デュトロ / ブルーリボン	ノア/ヴィクシー / エスファイア	シエンタ HV	プリウス 50	不良品 A~C	合計
0	1	2	0	1	1	0	14	148
13	31	10	0	8	5	3	55	1594

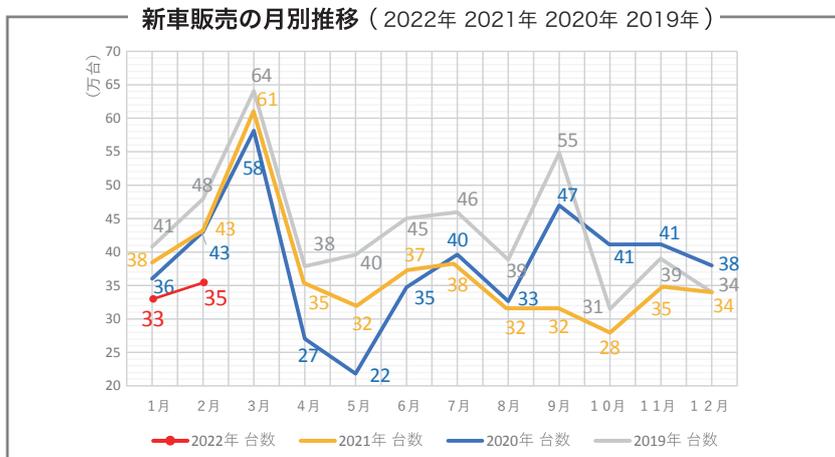
□2020年度の結果・2021年度事業説明資料はこちら→ <http://elv.or.jp/index.php?itemid=1740>

※セレナC26ジェネレーター共同出荷事業は予定数に達したため、終了しましたが、引き続き、リビルドコアとして機構会員特別価格(9月改訂)での買取を行っております。
買取をご希望の場合は、アーネスト(TEL048-981-6384、担当:川崎様・加藤様)までお問い合わせください。

2月新車販売・使用済自動車発生台数

06

■2022年2月度 新車販売台数 354,688台 (前年同月比82.0%)



過去の自動車販売台数推移		
年累計	台数	前年比(%)
2022年 (2月まで)	684,367	83.8
2021年	4,448,340	96.7
2020年	4,598,615	88.5
2019年	5,195,216	98.5
2018年	5,272,067	100.7

※出所: 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

■2022年2月度 使用済自動車引取(電子マニフェスト)実施状況



引取件数
209,929件 (前年同月比 84.7%)
フロン回収工程
187,623件 (前年同月比 84.7%)
解体工程
216,917件 (前年同月比 84.9%)

※出所: 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

3月第3週(17日)の鉄スクラップ動向

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移



3月17日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	61,500～62,500	堅調
	南関東	61,500～62,500	堅調
	浜値	62,500～63,500	堅調
名古屋		61,000～62,500	堅調
関西	大阪	62,000～63,000	堅調
	姫路	62,000～62,500	堅調

国内市場 全域で値上げ広がり続伸 値上げ幅2,500円どころ

国内市場の鉄スクラップ市況が続伸する展開となった。需要家各社は3月15日、購入価格を値上げし、国内全域で鉄スクラップ相場は2,500円どころ続伸した。

ロシアのウクライナ侵攻などを背景に世界的な資源高の動きとなり、鉄スクラップ相場も世界的に値上がりする動きとなっている。日本玉の輸出市場も堅調で、3月9日の関東鉄源テンドー、3月14日の関西鉄連テンドーが国内相場を上回る高値で落札された。このため国内に先高観が根強く、市中スクラップの発生薄もあって、荷動きが低迷。全国的に不足感があるのが現状だ。このため需要家各社は購入価格を引き上げて引き合いを強めた。国内主要3地区(関東、中部、関西)などすでにH2相場が6万円台に達していた地域でさらに続伸。安値圏の地域も値上がりが6万円台に到達した。なお、市中には先高観があり、その後も全国的に堅調さを維持している。

東京製鉄は3月15日、全拠点の購入価格を2,500円値上げ。田原工場は過去最高値を更新。その他の拠点は2008年8月7日改定以来の高値を更新した。

【関東地区】 各社の値上げ改定後も堅調な相場推移

関東地区の市況は3月15～16日にかけて需要家各社の値上げ改定が広がった後も堅調な推移を見せている。H2相場は2008年8月以来の高値となる6万円台前半へと上げ進んだが、世界的な資源高を背景に、なお市中には先高観があるのが現状だ。H2炉前実勢価格は61,500～62,500円中心。電炉入荷にバラつきが生じているため、中心値を上回る高値も散見される。H2浜値は62,500～63,500円中心と、電炉買値よりやや高値圏にある。

【東海地区】 続伸後もなお強気感の残る展開

名古屋地区の市況は堅調に推移している。3月15日から東京製鉄が全工場一律2,500円の値上げ改定を実施したことを受け、名古屋地区の他社電炉も一斉に同じ値幅での値上げで追随した。ただ、市況は歴史的な高値圏で推移していることから「パニック的な上昇が落ち着けば、次は急落も視野に入れておかなければならず安閑とはしてられない」(業者筋)との声も聞かれる。H2炉前実勢価格は61,000～62,500円中心。

【大阪地区】 湾岸が価格優位性を保ち強基調の展開

大阪地区の市況は依然として強含み。足元は市中からの湾岸向け出荷が電炉入荷の低迷をもたらしており、電炉は価格対応を要する状況にある。ただ「3月中旬までは輸出高騰の影響を受けているが、湾岸の採算性や今後の地区需要を踏まえれば3月の3連休を起点に市況も落ち着きを取り戻してくるのでは」(電炉購買担当者)との声が聞かれる。H2炉前実勢価格は、大阪地区が62,000～63,000円中心。姫路地区が62,000～62,500円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、3月17日午後時点のもの)

April

— 4月の主な行事予定—

■ 4月6日(水)

・第1回 広報部会

■ 4月19日(火)

・中部・北陸ブロック会議

■ 4月25日(月)

・中国・四国ブロック会議

■ 4月27日(水)

・関東ブロック会議 (WEB)

・第1回 常任役員会

※急遽、日程の変更・延期の場合がございます。

お知らせ

経済構造実態調査へのご協力をお願いします

総務省・経済産業省では、2022年6月に全ての産業における企業・事業所や団体を対象とした「経済構造実態調査」を実施いたします。

この調査は、統計法(平成19年法律第53号)に基づき実施する国の重要な統計調査(基幹統計調査)で、ご回答いただいた調査内容は統計法に基づき厳重に保護されます。

調査をお願いする企業・事業所や団体の皆さまには、国が調査を委託した事業者から、調査票などの調査書類を、5月中旬から順次郵送いたしますので、インターネット(難しい場合は郵送)にて、ご回答をお願いいたします。

■詳しくは、以下のURL から経済構造実態調査のホームページをご覧ください■

<https://www.stat.go.jp/data/kkj/index.html>

<問い合わせ先>

総務省統計局経済統計課経済構造実態調査担当

メールアドレス：e-kkj@soumu.go.jp

電話番号：03-5273-1165

編集後記

コロナ災禍も一段落となりつつあり、ようやく平穏な日常を取り戻そうかといった矢先、ウクライナにロシアが侵攻という容易ならざるニュースが飛び込んで来ました。この有事に関しては連日報道がなされているので、あえてここに書くことはしませんが、しかしテレビやネット動画で見る現地の様子には憤りを感じてなりません。これは自然災害ではなく、明らかに人間の行っている行為なのです。本当に恐ろしいことです。権力者の思想を押し通すことで、多くの人々の住み慣れた街を破壊し、日常を奪い、殺傷する、人間の行為として到底許されるべきことではありません。早期の停戦を切に願うところです。

さて、我が業界も嵐が吹き荒れています。市況は確かに好調をキープしています。しかしながらブロック会議でのメンバー顔色がいまひとつ冴えないのは、使用済自動車の減少に伴う過剰な仕入競争、買取り価格の更なる高騰が理由に挙げられます。この傾向ももはや誰にも止められないといったところです。激動の時代を生き抜くことは、本当に大変なことだと思っております。

(広報部会長 永田 則男)